

東海地方名古屋支部

西脇 敬



第八九回定期全国大会に...

関西地方阪神支部

池口光洋



第八九回定期全国大会に...

表明している玉城デニー氏が...

四国地方徳島支部

来見一生



第八九回定期全国大会に...

九州地方長崎県支部

松崎大悟



去る九月十二日から十三日...

沖縄地方

金城正博



今回十数年ぶりに沖縄で...

自然災害が猛威を振るう

今年日本各地で深刻な自...



大阪港・神戸港での台風による被害状況

とても感動いたしました。...

退任役員あいさつ

前中央執行委員長(東北)

松本耕三



全港湾の中央執行委員長退任にあたってひとこと挨拶を申し上げます。

わたしは、一九七三年三月小名浜港に就職し、その年の十月に全港湾に加入しました。全港湾に入って驚いたのは、労働組合の力でした。それまで横暴だった会社の役員、管理職の対応が全く正反對になり、職場環境は和気あいあいと楽しいものになりました。労働条件も飛躍的に向上しました。

そのなかでも貴重な経験は、小名浜地区労の運動を通じて組合づくりで、なんどもなんども挫折をしてきたことでした。一〇年間ぐらいいは、組合を作っても企業の攻撃でつぶされることの繰り返しで、負けイクサばかりを続けました。しかし、そのことが、あとあと、東北地本が抱えたかすかすの組織問題や数百人も全港湾の組合員加入があった組織拡大に生かされることになるとは思いもよりませんでした。



前中央執行委員(日本海)

小柳浩光

第八九回定期全国大会をもって、中央執行委員を退任しました。私は、中央執行委員を八年間務めさせていただきました。全港湾の組合員になって三〇年の節目の年に全役員を退任しました。中執の任期中は、青年部担当・労働者供給事業担当・労働者職業病

対策委員など各地方・各支部の多くの皆さんと問題共有しながら取り組んで来たことが大変良い思い出となりました。また、在籍中は多くの先輩と仲間を支えていただいたことに改めて感謝とお礼を申し上げます。

今日の港湾においては大変厳しい状況が続いています。全港湾が先頭に立ち、団結を緩めず邁進することを祈念申し上げて退任の挨拶いたします。本当に世話になりました。

前中央執行委員(関東)

鈴木茂



このたび第八九回定期全国大会で中央執行委員を退任しました。関東の鈴木茂です。二期四年間の短い期間でしたが大変有意義に過ごすことが出来ました。これはひとえに全国の仲間の皆さんの御蔭と感謝申し上げます。一九七四年に日検協会に入会後当時の全港湾検数分会に加

社を辞めざるを得ないかもしれない」といい、青年部結成の時は先輩からの暴行を受けたこともありました。初めての組合役員選挙は一票差でした。三二歳で支部書記長になったときは、「約半数の組合員の脱退問題」があり、收拾に苦労しました。地本の書記長選挙もぎりぎりまで判明しない状況でした。

未だ、全国港湾産別運動への挑戦という課題が現在進行中です。これまた、何も確定していませんが、産別運動の頭張りましょう。

強化とたたかう労働運動の再建という目標は、はっきりしています。引き続き、ともに頑張りましょう。

入し、以後分会役員、東京支部執行委員、関東地本執行委員などを経て、東京支部執行委員長、関東地本書記長として活動を行ってきました。

この間、当時東京支部の主要分会であった小川運輸の

企業倒産、ナミツ運輸の民事再生の再建などを経験し多数の退職脱退者が出て苦しい経験が多数あったり、一方で地道な運動によって組織の拡大も行ってきました。しかし多くの分会が企業内で少数派であるために組合員共々苦たことは否めません。しかし、中央執行委員会が中央、地方の様々な状況を把握した中で議論を行う雰囲気は非常に勉強になりました。現在は、社会情勢、政治情勢、労働情勢の流れを的確につかみ全組合員の発想で今後またたかう全港湾の伝統を引き継がれていくことを切に願ひ退任のご挨拶とします。

大会のひとごま



新任役員あいさつ

中央執行委員長(日本海)

真島勝重



沖縄で開催された第八九回定期全国大会で中央執行委員長に選任されました真島勝重です。全港湾の輝かしい歴史を継承するとともに、強化発展をはかりながら魅力ある労働組合であり続けるべく、努力していく所存であります。

私の持論ですが、野球やゴルフなど好きなものが一緒の人々が集まるところは同好会であり、嫌いなものは納得で集まるところが労働組合であると考えています。賃金が低すぎる、長時間労働だ、社会保障が悪すぎる、戦争は嫌だ、将来が不安だ等の多くの課題を組合員全員で共有し、それらを改善するために一歩でも前進させていく、そのために中央執行委員長は常に先頭に立って労働運動を行わなければなりません。

私は、ファーストペンギンになります。しかし、二年間の運動方針を実践していくためには、私一人では何もできないことも事実です。方針を

進み、企業の枠を超えた産別労働運動を強化していかねばなりません。

そのためには、組織を強化し、拡大していくことが最重要課題であります。私自身が裸の王様にならぬよう、組合員の意見を率直に受けとめていきます。そして、時には行

動し、その結果に反省すべき点は反省しますが、後悔はしない、そんな労働運動に邁進していきます。

就任の挨拶にあたり、最後に「花、無心にして花を招き蝶、無心にして花を尋ぬ良寛」共に労働運動を前進しましょう！

書記長(九州)



いま、港湾をめぐる状況というものは大変な時期に思っています。規制緩和以降、あらゆるものの転換期だと思

松永英樹

第八九回定期全国大会で書記長に選任されました松永です。中央執行委員三年、副中央執行委員長六年を経ての就任となりました。

思い起こせば一九九一年港湾に入り全港湾のお世話になってい

第八九回定期全国大会で書記長に選任されました松永です。中央執行委員三年、副中央執行委員長六年を経ての就任となりました。

思い起こせば一九九一年港湾に入り全港湾のお世話になってい



きました。いま一度その力、知力、行動力が求められています。

真島中央執行委員長のもと執行部一丸となれるように全身全霊をもって頑張りますの

書記長という重責につくわす。皆さんの声、組合員の声、先輩たちの声、あらゆる声に反応し、強く優しい

中央執行委員(日本海)

法土豊行



職場は港湾、トラック、沿岸、倉庫を含め人員不足など

職場は港湾、トラック、沿岸、倉庫を含め人員不足など決して他人事ではない課題があります。八九回の大会の中で代議員から多くの現場実態の発言があり「さすが全港湾だ」と改めて思いました。

社会保障制度の充実や介護の問題、労働者の立場からの働き方を改革するには政治の力が何よりも必要であります。

そのためには来るべき来春の作業にたずさわっていただいた組合員のみなさんには頭の

中央執行委員(関東)

佐藤史生



第八九回定期全国大会にお

第八九回定期全国大会において中央執行委員に選出されました佐藤です。私の職場は、紙輸送トラック、トレーラー、フェリー輸送、倉庫業の会社です。当時は全港湾の組合もなく社長のワンマン経営で、すぐやめてしまおうと思

この間物流の規制緩和が進み適正な運賃収受に至っていないのが現状で待機時間、最低車庫保有台数、四五フィートの問題など問題は山積しています。

そのためトラック労働者の賃金実態は、長時間労働を行わない限り生活できない状況で若者が就職しない産業になっており物流業界は、危険、きつい、帰れない新三K業界と言われ、慢性の人手不足になっており廃業する物流会社が数多く出ています。こ

基づき職場組合員の先頭になって運動を取り組みます。これまでの諸先輩方の苦勞や努力に、そして今大会で退任された前任の方々に感謝し、職場大衆運動が一步でも半歩でも前進できますように組合員のみなさんと先輩執行委員

のご指導をいただきがんばりぬく決意であります。共にがんばりましょう。

今後の組織強化はもちろんのこと賃上げ、一時金闘争だけでなく政治的な問題や経済情勢をもっと学習し、組合運動に活用してゆくことが益々必要になっていきます。年齢は、今回の中央執行委員の中では二番目に年齢は若いですがフットワークでは負けないつもりで頑張っていきたいと思います。

これまでは地方の場で組合運動を取り組んできましたがこれからは中央執行委員として全国的な課題に取り組んでゆきたいと思

